
傘売りおじさん

涼吹 翼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

傘売りおじさん

【Nコード】

N5939J

【作者名】

涼吹 翼

【あらすじ】

晴れの日でも傘を差し、
いつも傘を売っているおじさん。
彼は何のために傘を売なのか。

傘を差したにこやかな顔つきのおじさんが街を歩いている。

散歩をしているのではない、

このおじさんはこの辺りじゃあちよつとした有名人。

おじさんは晴れの日でもいつも傘を差している。

少しおかしなおじさんだ。という訳ではなく彼は傘売りなのだ。
腕にいくつもの傘を持ってそれを売り歩いている。

おじさんの傘は評判で羽のように軽いが、風が吹いても飛んでいかず、

どんなに乱暴に扱っても穴一つ開かないし骨組みが歪んだりすることとは決してしないのだ。

今日は雨の日、

街を歩いているおじさんを見た人たちは傘を買おうとおじさんの周りに集まる。

おじさんは、いつものにこやかな顔で集まった人たちに傘を売ってゆく。

一つの傘を売ることにおじさんは

「本当は雨の日だけじゃなくて晴れの日も差すのもいいのだよ、私みたいなね」

と一人一人に言う。

しかし、おじさんの傘は晴れの日に差すような日傘ではないのは誰が見ても明らか。

みんな「今度気が向いたらやってみますよ」と言うだけで
実際に晴れの日におじさんの傘を差しているのはおじさんただ一人
なのだ。

晴れの日には誰も傘を差していないのを見るとおじさんは少し悲しそ
うな顔をする。

そして、少しずつ日は過ぎてゆく。

雨の日、晴れの日、晴れの日、雨の日、晴れの日。

そして、ある雨の日。

いつもの様におじさんの周りに集まった人たち。

しかし、おじさんの表情は少しだけ焦っている様な顔をしている。

そして傘を買おうとした一人がおじさんに声をかけると、

おじさんは、いつもの売った後に一人一人にかける言葉じゃなく傘
を買おうと集まった人たち全員に向かって

「明日は晴れの日です。しかし、雨が降ります。絶対に傘を……私
の傘を明日は差してください」
と言った。

傘を買った人たちは少し不思議に思ったが、
しばらくするとおじさんの言葉を忘れてしまった。

そして次の日。

傘売りおじさんが涙を流しながら街を歩いている
核が打ち込まれ、放射能の雨が降り、誰もいなくなってしまった街
を。

（後書き）

お久しぶりです。

今回もショートショートですが
いかがでしたでしょうか？

人の言う事は聞き流したりせずにしつかりと聞く方が良いものです。
自分が痛い目を見ることになりますから・・・

それでは、また。

次の作品でお会いしましょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5939j/>

傘売りおじさん

2010年10月16日07時29分発行